

人とのつながりが地域をつくる

活動先：親子の広場 あんだんて

クラス：末盛 慶 先生

1. 自分の成長と気づき

サービスマーケティングを通して、「相手の立場に立つこと」と「つながりの大切さ」を気づくことができた。

私個人は、「相手の立場になって考える」ことを目標に活動に取り組んだ。今回私は、あんだんてで小学生と関わった。そのため、小学生に楽しんでもらうことを主に考えて活動した。活動中は私たちが考えた企画を実行していった。その中で、どうすれば楽しんでもらえるかを、子どもたちと接する内、また、スタッフさんの言葉から気づくことができた。それは、楽しんでもらおうと考えるばかりでなく、まず自分たちが率先して楽しむことが重要であるという事だ。自分が笑って楽しんでいれば、子どもたちも一緒に楽しめる。そうして同じ気持ちを共有すると、良い関係を築けていけるように感じた。自分も一緒に楽しむ中でも、楽しんでもらえたかと考えたり、子どもたちの様子を見るだけでなく実際に聞いてみると「楽しかった」「また鬼ごっこをしたい」など思ったことを素直に伝えてくれるのは嬉しかった。その言葉を聞くと、良かったと思え、活動の支えにもなった。

活動中には失敗もあったが、その失敗から反省し今後の活動に活かせる経験になったと思う。失敗しても子どもたちがつまらなさそうにするのではなく、楽しそうにしていたのを見て安心したのが正直な気持ちだった。しかし、同時にこれではいけないと強く感じた。そこから、楽しんでもらうには、準備段階からしっかり準備することの重要性を痛感した。失敗を経験し、活動先に行きたくないと感じることや、途中企画のことで頭がいっぱいになり、笑顔を忘れてしまうこともあった。しかし、途中で投げ出さず、失敗とも向き合っただけで活動に取り組み、最後まで自分たちの考えた企画を実行することができた。この活動期間を通して、私は自分たちで企画し実行していくことの難しさを知り、同時に、諦めずに物事に最後まで取り組む力や実行力は、活動前に比べ成長できたと思う。しかし、メンバーに頼ってしまっていた部分もあったので、行動力や積極性は今後の活動で、もっと身につけるようにしていきたい。

活動中や活動後の研究から、現在の子どもたちがどのような社会環境に囲まれているのかを学んだ。スタッフさんに聞いたように外で集団遊びをすることが少なく、苦手としている子が多い。しかし、子どもたちと関わっているとめめることがあっても子どもたち自身で解決しようとする場面があった。それを見て、人と関わり遊ぶうちに子どもたちも成長しているように感じた。また、活動中にはスタッフさん、ボランティアの方、子どもたちの家族など多くの方に支えられて企画を実行していくことができた。それは、人との「つながり」があるからこそだと感じた。これらのことから、人との関わり、「つながり」の大切さに気づいた。「つながり」を大切にすることで、子どもも大人もお互い成長していけるのだと私は思った。私は、今回のサービスマーケティングもひとつの「つながり」なのではない

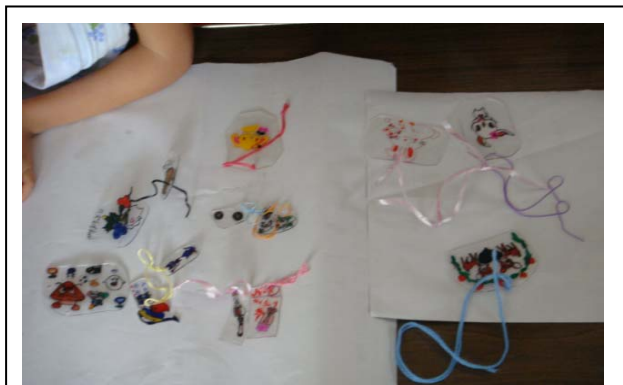
かと、振り返りなどを通じて感じた。この「つながり」の中で、私は実践的なことを学ぶことができた。ただ聞いただけでは分からないことを、経験することで身につけることができ、自分が身体を動かして得たものの大きさを感じた。

2. この活動を通して見えてきた地域活動や社会課題

今回、あんだんてでの活動を通して、地域で子どもが遊ぶこと、地域住民同士の交流が少ないことに気づいた。地域での住民同士の交流は少ないと聞いたが、あんだんてでは人とのつながりを大切にしているように感じた。あんだんてにある玩具はボランティアの方が作ったものなど、手作りのものがたくさんある。また、サービスマーケティングの活動中に私たちが考えた流しそめん企画があった。この企画を実行する時にもボランティアの方の協力があって成功させることができた。活動中、参加している小学生のご家族の方が持ってきてくださったスイカでスイカ割りをすることもできた。このようにボランティアの方々などの協力は、あんだんての方々や地域のみなさんとの関わりを大切にしており、また、信頼されているからこそ得られるものであると感じた。地域の住民同士でなかなか交流することがなくても、あんだんてを通して地域の人たちが関わられるような場所に、あんだんてがなれば地域のつながり、支え合いも増えてくるのではないかと考えた。そのために、子どもたちや親だけがあんだんてに来るのではなく、誰もが足を運びやすくなるように地域の方も参加できる交流会などを開催し、地域の人同士をつなぐ役割を担っていければ良いと思う。

しかし、交流会などさまざまな企画を実行していこうとすると、お金がかかってしまい実行することが難しい面がある。NPO は非営利で行い、それでも厳しい面がある。あんだんては NPO 法人格を取得していないので、財政面では厳しく多くのことに取り組むのは難しいと思う。しかし、自由にやりたいことをやる事ができるという面もあるので、それを活かして地域の人のニーズに応じていければよいと思う。そこでも財政面で厳しいと思うが、地域の人の理解と協力を得られれば運営し、様々な企画もできるのではないかと考えた。

活動を通して、人のつながりの重要性を知る事ができた。地域とのつながりを持つことで、お互いに助け合おうという気持ちを持てるようになっていくように感じた。そうして地域が活発になっていくのだと私は考える。このような関係作りをするためにあんだんては、大切な場となっているように思う。同じような場が社会に増え、地域の人々を繋いで行くべきだと感じた。また、NPO 法人などが地域の人が集まるような場を提供することで、子どもから大人までをつなぐ重要な役割を果たしていくべきだと私は考える。



2010年8月24日(火)

● プラ板づくり

この夏の世代間を超えた関わりの中で、“形に残る思い出作り”を最終日に企画